

## 【ご案内】新情報システム学体系化研究・第2回講演会の開催

2014年9月9日

新情報システム学体系調査研究委員会

委員長 伊藤重隆

### ◆テーマ：「国際社会の潮流から考察する新情報システム学の重要性」

第2回は、新情報システム学序説の第1部2章と3章で扱われている、人と社会における情報行動、及び情報システム構築の視点の実践例としてのCSRの国際潮流を、グローバルで社会的信用も極めて高いNPOであるCaux Round Table-Japan専務理事の石田寛様に取り上げていただきます。

(CRTの組織は <http://www.crt-japan.jp/EN/files/profile.html>をご参照下さい。)

現在、CSRはより大きな概念である国連グローバルコンパクトが提唱するArchitects of a Better World に包含されるようになっていきます。また、日本主導でISO規格化されたISO26000SR (Social responsibility) にも取り込まれ社会システムを構成する要素の一つとなっています。

社会システムつまり人間中心の情報システムの国際的な潮流について解説いただくと共に、その典型的な適用例ともなる2020年の東京オリンピックにおいてサステナブルなサプライチェーンが如何に人間中心の情報システムにより実現できるのかをロンドンオリンピックの取組みを参照しながら考察します。この部分は、新情報システム学序説第2部11章の問題解決技術や第3部13章～15章と対比しつつ理解を深めることができますと思います。新情報システム学をどのように国際発信し、国際的認知を高めるかについても伺いすることができると期待しています。

この貴重な講演会の機会に是非ご参加いただけますようご案内申し上げます。

◆日時：10月7日（火）18:00～20:00

◆場所：青山学院大学 総研ビル8階第10会議室

住所：〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

アクセスマップURL：<http://www.ri.aoyama.ac.jp/contact.html>

◆講師：経済人コー円卓会議日本委員会事務局長 石田寛氏

◆参加費：無料

★参加ご希望の方は、以下までご連絡ください。

<新情報システム学体系調査研究委員会：渋谷照夫>

e-mail: shibu\_t4771■kym.biglobe.ne.jp (■を@に置き換えてください)

当日連絡先：090-6512-8954 (渋谷)

以上

——— (ご参考) 講演者：石田寛氏のプロフィール ———

CSR (Corporate Social responsibility：企業の社会的責任) の考えを日本に広め、企業に対してコンサルティングを行ってきたのが、経済人コー円卓会議日本委員会専務理事の石田寛氏です。例えば、日本におけるCSR活動の先駆的な事例としては、日産が有名です。日産のCSR活動を陰で支えたのが石田氏で、その模様は『日産のCSR戦略—成長と信頼に基づく持続可能性の経営』（生産性出版）に詳述されています。CSRを通して企業のトップマネジメント層へのアドバイザーとして活躍しながら、関西学院大学の准教授を経て、現在は、九州大学大学院経済学府客員教授として学術的研究分野でもCSR分野の第一人者です。また、企業の幹部候補生を対象にグローバルに活躍できる次世代リーダーの育成を展開されています。現在では国連が主導する国際会議で日本のCSRの先進的取り組みや社会システムの構築事例について積極的に発信し、国際的な注目を集めています。並行してロンドンオリンピックの委員歴任者とも連携し、2020年の東京オリンピックにおけるサステナビリティとサプライチェーンシステムのグランドデザインの提言も行っています。

---